

第139期報告書

平成18年4月 1日から
平成19年3月31日まで



エンシュウ株式会社

株主のみなさまへ



株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当連結会計年度におけるわが国経済は原油価格の動向等不透明な要因はあったものの、企業収益の改善を背景にした民間設備投資の増加や雇用情勢の改善などにより引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような情勢の中で当社グループは顧客ニーズに応え得る新製品開発や生産コスト削減を推進するとともに、国内外に積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、連結売上高は47,870百万円(前期比8.5%増)、連結経常利益は1,836百万円(前期比0.6%増)、連結当期純利益は1,119百万円(前期比4.8%増)となりました。

なお、第139期の配当につきましては、15期ぶりの復配となる1株当たり5円の配当を実施させていただくこととなりました。今後共、企業価値の向上を目指して努力していく所存でございます。



代表取締役社長

中野 義夫



さて、当社グループは平成18年4月より中期経営計画をスタートさせ、「お客様から選ばれ続ける」企業を目指すことを基本方針として、基盤固めから安定的成長に向け全社ビジネスバランスの改善・改革に取り組んでおります。また、併せて財務体質の強化も図っております。

その他、当社グループの強みの基となる技術・技能の蓄積と発展を図ってまいります。また、内部統制システムのさらなる整備によるコーポレートガバナンスの強化にも取り組んでまいります。

当社グループといたしましては、安定した経営基盤の確立に、全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

事業の概況

平成18年4月1日から平成19年3月31日に至る当社第139期の事業概況等についてご報告申し上げます。

部門別の概況

● 工作機械関連事業部門

当連結会計年度における工作機械業界(日工会)の受注総額は1兆4,746億円となりバブル期以来16年ぶりに過去最高を記録いたしました。海外向けが大きく伸びし外需が内需を上回りました。

そのような中で工作機械事業では当社グループの強みであるシステム機械を柱に積極的な営業活動を展開し、国内においては自動車関連業界を中心として、また、海外においては販売子会社を核として拡販に努めてまいりました。

その結果、受注につきましては主要顧客の自動車関連業界の設備投資が一段落し、微減となりましたが、売上高は前年を上回ることができました。

また、光関連事業につきましては光技術をコアとして浜松ホトニクス株式会社と連携、協業を推進してまいりました。特に高出力半導体レーザー加工機につきましては販売体制を強化し営業支援のための加工技術の向上、用途開発に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は前年を上回ることができましたが、採算的には販売促進費や研究開発費の増加により厳しい結果となりました。その他、産学協同で取り組みましたフェムト秒レーザー加工機の開発は、期待以上の成果を上げ終了いたしました。今後は実用機として完成させるべく次のステップへ進めてまいります。

以上の結果、工作機械関連事業部門の売上高は23,259百万円(前期比7.7%増)と増加いたしました。営業利益は販管費の増加により1,005百万円(前期比3.5%減)となりました。



バルブボディFTLライン

現在、受注は堅調に推移しておりますが、グローバル化の進展で海外需要が増大し、海外戦略の重要度が増しております。営業部門では海外販売子会社

を中心に販売体制を強化してまいります。特にアジア地域の拡販に注力してまいります。

また、依然として顧客の納期要求や価格競争は厳しく、さらに原材料費が上昇しコストアップが懸念され、更なる原価低減と生産性向上が求められております。技術部門ではシステム機械周辺装置の標準化によりコストダウンを図り、また、マシニングセンタの商品開発も強化いたします。製造部門では平成18年4月よりスタートしたTPM活動をベースに生産性向上によるリードタイムの短縮、また、調達部門の強化や海外調達の拡大による原価低減にも取り組んでまいります。市場規模が変動する中、収益力を強化し安定的に利益を確保できるよう体質改善を図ってまいります。

光関連事業におきましては、高出力半導体レーザー加工機の認知度が高まり引き合いも増えてまいりましたので、営業力の強化や加工技術の向上により販売拡大を目指してまいります。

また、浜松ホトニクス株式会社および大学等との連携により、研究・開発の推進も図ってまいります。



シリンダーヘッドFMSライン

● 輸送機器他関連事業部門

当連結会計年度におきましては自動車部品の生産増加等により売上高は前年に比べ増加いたしました。利益につきましては、設備投資拡大に伴う償却費および新規製品取入れによる初期費用等の増加により前年を下回りました。

以上の結果、輸送機器他関連事業部門の売上高は24,611百万円(前期比9.4%増)、営業利益は924百万円(前期比12.8%減)となりました。

今後につきましては、海外自製化による仕事量の減少や競合のグローバル化によるコスト競争の激化が予想され環境は厳しさを増しておりますが、収益性を維持しつつ売上拡大を図り安定的に利益を確保できる体質を構築してまいります。営業力強化による新製品の取入れを拡大させるとともに、TPM活動を基軸に一層の工場改善を推進し原価低減に努めてまいります。また品質向上に向けての体制の強化、仕組みづくりや世代交代のための人材育成にも取り組んでまいります。



● シカゴショー2006 (IMTS2006)

世界三大国際工作機械見本市のひとつ「シカゴショー2006」が2006年9月6日から13日まで米国シカゴのマコーミックプレイスで開催され、世界30カ国以上から1,288社が出展し、来場者は9万2千名を上回りました。

当社からは大型高生産性横形マシニングセンタJE80S、テーブル固定横形マシニングセンタJE50S、ワイドスペース横形マシニングセンタJE30SL、重切削横形マシニングセンタR50H、テーブル固定立形マシニングセンタES400の5機種6台を出展し、来場者の好評を得ました。



横形マシニングセンタJE50S



5

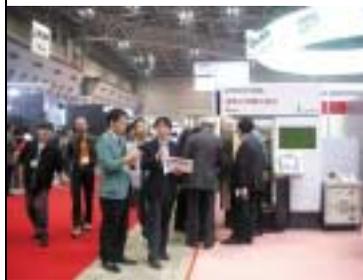
● 第23回 日本国際工作機械見本市 (JIMTOF2006)

第23回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2006)が2006年11月1日から8日まで、東京ビッグサイト(東京国際展示場)で開催されました。785社が出展し、15万人を超える来場者を数え盛況のうちに行われました。

工作機械関連では、新開発の超高速横形マシニングセンタJE60G、大型テーブル移動横形マシニングセンタJE80SS、ワイドスペース横形マシニングセンタJE30Gの3機種3台の展示をしました。

また、当社が得意とする自動車メーカー向けの加工ラインをビデオ展示、併せて、商談から納入までの加工ライン作り(モノ作り)に対するエンシュウの姿勢を紹介するビデオ展示も行いました。

光関連では、高出力半導体レーザー溶接システムL1、高出力半導体レーザー樹脂溶着システムLJ、高出力半導体レーザーロウ付けシステムの3機種3台を出品しました。又、半導体レーザーによる新しい接合技術の紹介をしました。何れも多数の来場者の注目を集め、前回の展示会より4割多いお客様にご来場いただきました。



横形マシニングセンタ JE60G

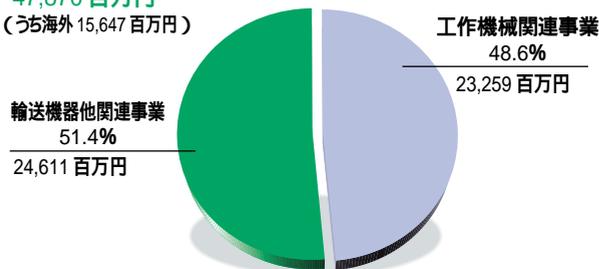
6

連結 売上及び受注の状況

売上高

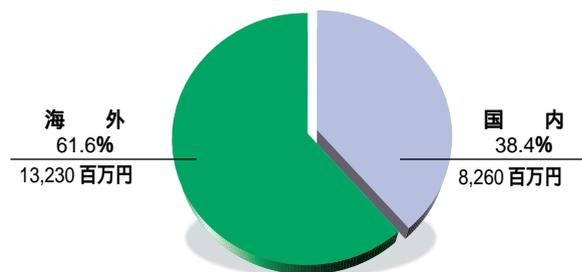
47,870 百万円

(うち海外 15,647 百万円)



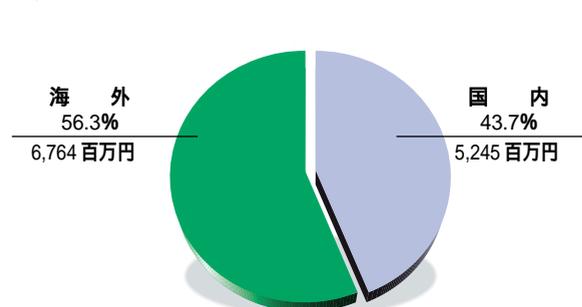
工作機械関連事業の受注高

21,490 百万円



工作機械関連事業の受注残高

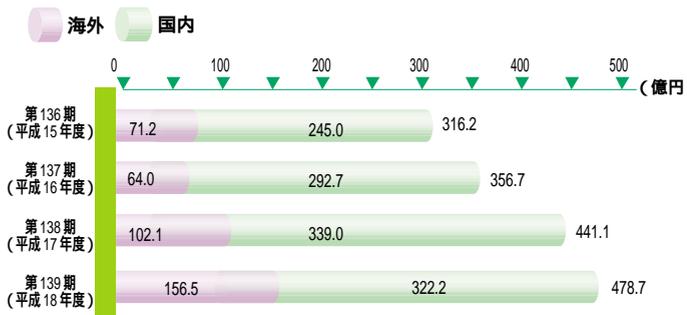
12,009 百万円



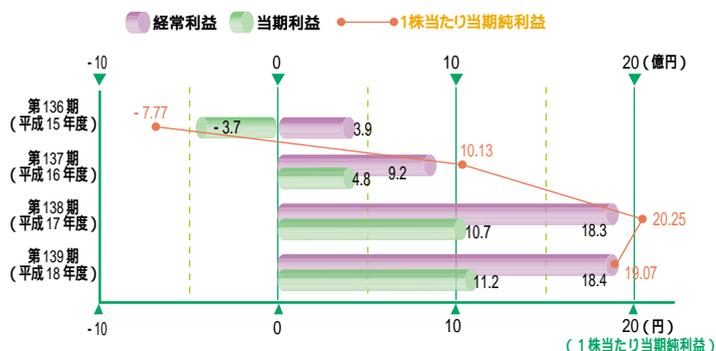
7

連結 第136期~第139期 業績の推移

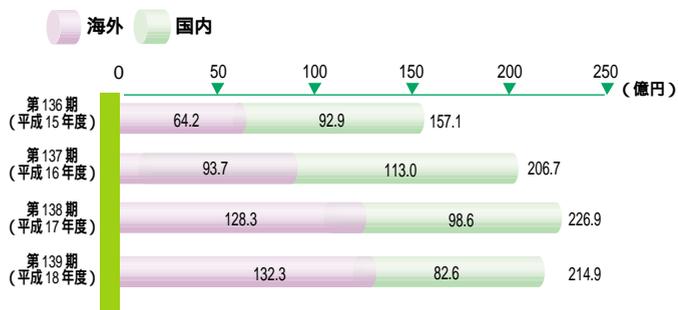
売上高



利益



工作機械関連事業の受注高



8

連結貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
流動資産	26,400
現金及び預金	1,791
受取手形及び売掛金	10,333
有価証券	91
たな卸資産	11,114
繰延税金資産	751
信託受益権	2,106
その他	243
貸倒引当金	32
固定資産	16,527
有形固定資産	15,137
建物及び構築物	2,531
機械装置および運搬具	5,505
土地	5,835
建設仮勘定	794
その他	471
無形固定資産	24
投資その他の資産	1,364
投資有価証券	198
繰延税金資産	1,018
その他	242
貸倒引当金	94
資産合計	42,927

科 目	金 額
(負債の部)	
流動負債	20,850
支払手形及び買掛金	9,500
短期借入金	7,943
未払法人税等	507
賞与引当金	640
その他	2,258
固定負債	9,400
長期借入金	4,562
再評価に係る繰延税金負債	2,109
退職給付引当金	2,410
その他	318
負債合計	30,250
(純資産の部)	
株主資本	9,375
資本金	4,640
資本剰余金	3,053
利益剰余金	1,711
自己株式	31
評価・換算差額等	3,290
その他有価証券評価差額金	38
繰延ヘッジ損益	3
土地再評価差額金	3,203
為替換算調整勘定	51
少数株主持分	11
純資産合計	12,676
負債純資産合計	42,927



連結損益計算書

自平成18年4月1日
至平成19年3月31日

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売上高	47,870	
売上原価	42,877	
売上総利益	4,993	
販売費及び一般管理費	3,131	
営業利益	1,861	
営業外収益		
受取利息	7	
受取配当金	0	
持分法による投資利益	7	
賃貸料	46	
受取保険金	42	
為替差益	168	
その他	64	337
営業外費用		
支払利息	261	
社債発行費償却	5	
その他	96	362
経常利益	1,836	
特別利益		
固定資産売却益	1	
投資有価証券売却益	0	1
特別損失		
固定資産売却損	3	
固定資産廃棄損	19	
投資有価証券評価損	0	23
税金等調整前当期純利益		1,814
法人税、住民税及び事業税	912	
法人税等調整額	220	692
少数株主利益		3
当期純利益	1,119	

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

自平成18年4月1日
至平成19年3月31日

(単位:百万円)

科 目	金 額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,228	
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,634	
財務活動によるキャッシュ・フロー	446	
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	
現金及び現金同等物の増加額	84	
現金及び現金同等物の期首残高	3,163	
現金及び現金同等物の期末残高	3,247	

連結株主資本等変動計算書

自平成18年4月1日
至平成19年3月31日

(単位:百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	3,140	1,553	592	22	5,265
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	1,500	1,500			3,000
当期純利益			1,119		1,119
自己株式の取得				9	9
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)					
連結会計年度中の 変動額合計	1,500	1,500	1,119	9	4,109
平成19年3月31日残高	4,640	3,053	1,711	31	9,375

	評価・換算差額等					少数株主 持 分	純資産 合 計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	土地再評価 差 額 金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	39	-	3,203	3	3,247	6	8,519
連結会計年度中の変動額							
新株の発行							3,000
当期純利益							1,119
自己株式の取得							9
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)	1	3	-	48	42	4	47
連結会計年度中の 変動額合計	1	3	-	48	42	4	4,157
平成19年3月31日残高	38	3	3,203	51	3,290	11	12,676

個別貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

科 目	金 額
(資産の部)	
流動資産	24,876
現金及び預金	1,522
受取手形	1,401
売掛金	10,613
製品	538
半製品	367
原材料	668
仕掛品	6,684
貯蔵品	133
繰延税金資産	491
関係会社短期貸付金	118
信託受益権	2,106
その他の	241
貸倒引当金	11
固定資産	16,893
有形固定資産	
建物	2,384
構築物	147
機械装置	5,533
車両運搬具	18
工具器具備品	453
土地	5,835
建設仮勘定	794
無形固定資産	
電話加入権	9
施設利用権	15
投資その他の資産	
投資有価証券	1,702
関係会社株式	124
関係会社出資金	347
従業員長期貸付金	70
長期滞り債権	25
長期前払費用	96
繰延税金資産	20
積立保険	1,021
その他の	68
貸倒引当金	22
貸倒引当金	94
資産合計	41,770

(単位:百万円)

科 目	金 額
(負債の部)	
流動負債	19,667
支払手形	2,561
買掛金	6,058
短期借入金	7,943
未払金	1,457
未払費用	81
未払法人税等	467
前受金	13
預り金	31
賞与引当金	640
固定資産代支払手形	393
その他	20
固定負債	9,394
長期借入金	4,562
再評価に係る繰延税金負債	2,109
退職給付引当金	2,410
預り保証金	305
その他	6
負債合計	29,062
(純資産の部)	
株主資本	9,469
資本金	4,640
資本剰余金	3,053
資本準備金	3,053
利益剰余金	1,806
その他利益剰余金	1,806
繰越利益剰余金	1,806
自己株式	31
評価・換算差額等	3,238
その他有価証券評価差額金	38
繰延ヘッジ損益	3
土地再評価差額金	3,203
純資産合計	12,707
負債純資産合計	41,770

個別損益計算書

自平成18年4月1日
至平成19年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高	47,071	
売上原価	42,741	
売上総利益	4,329	
販売費及び一般管理費	2,638	
営業利益	1,691	
営業外収益		
受取利息	13	
受取配当金	0	
貸付料	46	
受取保険金	42	
為替差益	182	
その他	63	348
営業外費用		
支払利息	260	
社債発行費償却	5	
その他	95	361
経常利益	1,678	
特別利益		
固定資産売却益	0	
投資有価証券売却益	0	0
特別損失		
固定資産売却損	3	
固定資産廃棄損	19	
投資有価証券評価損	0	23
税引前当期純利益		1,655
法人税、住民税及び事業税	809	
法人税等調整額	137	671
当期純利益	984	

個別株主資本等変動計算書

自平成18年4月1日
至平成19年3月31日

(単位：百万円)

	株 主 資 本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成18年3月31日残高	3,140	1,553	1,553	821	821	22	5,493
事業年度中の変動額							
新株の発行	1,500	1,500	1,500				3,000
当期純利益				984	984		984
自己株式の取得						9	9
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計	1,500	1,500	1,500	984	984	9	3,975
平成19年3月31日残高	4,640	3,053	3,053	1,806	1,806	31	9,469

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	39	-	3,203	3,243	8,737
事業年度中の変動額					
新株の発行					3,000
当期純利益					984
自己株式の取得					9
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	1	3	-	5	5
事業年度中の変動額合計	1	3	-	5	3,970
平成19年3月31日残高	38	3	3,203	3,238	12,707



株式事項

(平成19年3月31日現在)



1. 株式の総数・資本金

発行可能株式総数	150,000,000株
1単元の株式数	1,000株
発行済株式の総数	63,534,546株
<p>転換社債型新株予約権付社債に係る新株予約権の行使により前期より10,222,399株増加しました。</p>	
資本金	4,640,850,000円

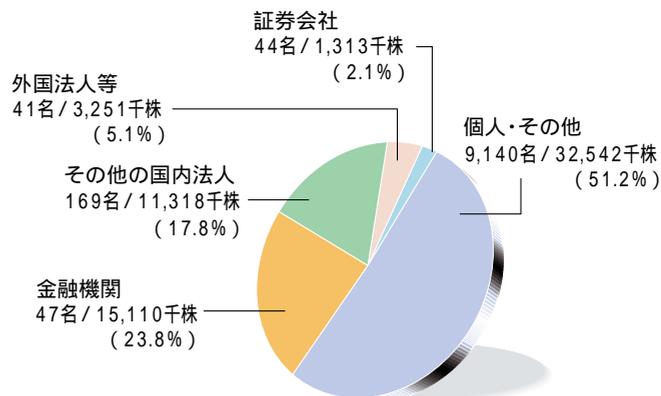
2. 大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,456千株 (10.18%)
エンシュウ取引先持株会	3,942千株 (6.22%)
日本証券金融株式会社	2,595千株 (4.09%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.15%)
株式会社みずほコーポレート銀行	1,572千株 (2.48%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.29%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.23%)
株式会社損害保険ジャパン	1,363千株 (2.15%)
明治安田生命保険相互会社	1,197千株 (1.88%)
日本生命保険相互会社	1,169千株 (1.84%)

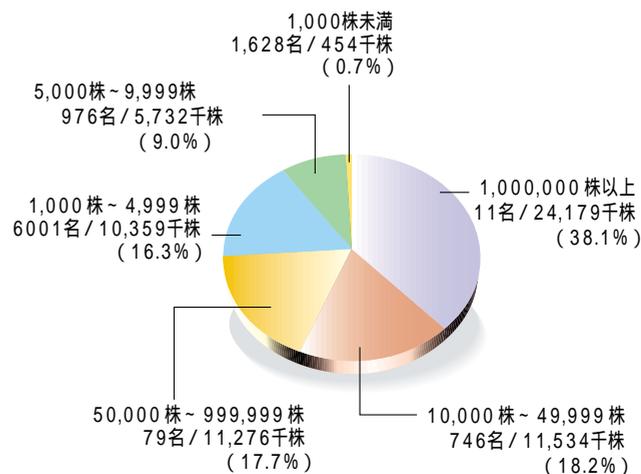
注) 比率は出資比率で表示しております。

3. 株主の構成

所有者別株式分布状況 合計：9,441名 / 63,534千株



所有株数別分布状況 合計：9,441名 / 63,534千株



4. 当期中の株式異動

名義書換件数	347件
名義書換株数	2,059,501株
当期末株主数	9,441名

COMPANY PROFILE



会社の概況

商号
エンシュウ株式会社
英文 ENSHU Limited

創立 大正9年2月5日
資本金 46億4,085万円
発行済株式総数 63,534,546株
株主数 9,441名
従業員数 914名(連結)

本社及び本社工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888
電話 053 447-2111(代表)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788
電話 053 588-0211(代表)

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788
電話 053 588-4771(代表)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15
(スターハイツ)
電話 03 5479-1671(代表)

大阪支店 〒564-0063大阪府吹田市江坂町1-23-43
(ファサード江坂ビル)
電話 06 6338-2471(代表)

高崎サービスステーション 電話 027 372-8924(代表)

金沢サービスステーション 電話 076 291-4251(代表)

広島サービスステーション 電話 082 849-6424(代表)

海外現地法人
ENSHU (USA) CORPORATION (シカゴ)
ENSHU GmbH (フランクフルト郊外)
ENSHU(Thailand)Limited (バンコク)

役員

(平成19年6月28日現在)

代表取締役社長	中	安	茂	夫
専務取締役	千	賀	伸	一
常務取締役	安	田	俊	二
取締役	中	村	泰	之
取締役	小	木	国	典
取締役	柳		弘	之
取締役	野	田	純	孝
常勤監査役	松	山	美	廣
監査役	石	塚		尚
監査役	鈴	木	芳	男
監査役	大	隅	安	次

MEMO

株主メモ



決 算 期	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日 (期 末 配 当)	3月31日
(中 間 配 当)	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月 なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主となります。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
【 お問合わせ先 】	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120 288-324(フリーダイヤル)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスタース証券株式会社 本店および全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
公 告	当会社の公告は、電子公告により行う。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。
株 式 の 上 場	東京、名古屋両証券取引所市場第一部



エンシュウ株式会社

インターネット上にホームページを開設しております。

エンシュウ株式会社 [http:// www.enshu.co.jp/](http://www.enshu.co.jp/)

ENSHU(USA)CORPORATION www.enshuusa.com